

いただきます 元気 ながさき おいしか県

びわ太郎食育通信



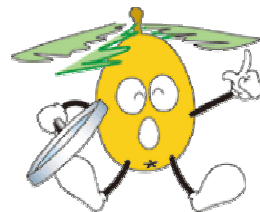
平成20年3月12日 第3号 長崎県食育・食品安全推進室

電話 095-895-2366 FAX 095-824-4780

詳しい情報はここから 長崎県食品の安全・安心と食育のホームページ <http://www.pref.nagasaki.jp/shokuhin/>

こんにちは びわ太郎です！

今年の冬はことのほか寒さが厳しかったですが、家族団らんで、お野菜たくさんの温かいお鍋を囲まれた方も多かったと思います。食育通信 第3号をお届けします。



食育推進県民運動の展開

県内の各地区で2回目の「食育推進地域ネットワーク会議」を開催しました。

地域における食育関係者の連携・協働体制を確立し、地域の特性を活かした食育を推進していくために、活発な協議がなされました。

主な意見交換の内容

- ・「もったいない、ありがとう」の気持ちを定着させたい。大食い大会、グルメ番組が多すぎる。
- ・自校式給食は作る人の顔が見え、先生と調理員の交流があり、子ども達は楽しみにしている。
- ・いろいろな団体がいろいろな活動をしているので、地域の連携を深めながら食育の大切さを伝えよう。
- ・光ケーブルで、19日の食育の日の行事など、市全体でライブ中継し、各学校で全校生徒が見ることができないか。農家、漁業者の生産の苦労、給食の準備、できあがりまでを情報発信することが大切。
- ・親にも種まきから野菜を育てる段階に参加させて欲しい。子どもは命の大切さを知っている。
- ・聞いて貰いたい人に伝えるには 全戸配付の広報紙を利用 食育は親子一緒に体験やイベントが効果がある 講座の設定を工夫し、待つのではなく出かけていくことも必要 有線放送を活用する などが提案された。
- ・会議への参加で、活動のネットワークが広がった。

県内の市町では、各市町の特徴を活かした独自の食育推進計画の策定が進んでいます。

平成20年2月までに、次の市町で計画が策定されています。また、現在5市町が計画を策定中です。

- 長崎市 「長崎市食育推進計画」
- 佐世保市 「佐世保市食育推進計画」～「食」から始まる豊かなくらし～食育実践都市「させぼ」
- 大村市 「大村市食育推進計画」「楽食」から元気で豊かな「おおむら」づくり
- 川棚町 「健康かわたな21」いきいき元気かわたなっ子（川棚町食育推進計画を盛り込む）
- 波佐見町 「健康はさみ21」[波佐見町健康増進・食育実践計画]

県からのお知らせ 長崎県食育推進県民会議の委員を募集します

活動内容：会議へ出席し審議する 資格：20歳以上の県内に居住、通勤の方 募集人数：3名
応募方法：申込書に800字程度の「私が考える食育の推進について」の小論文を添えて郵送
締め切り：3月27日

いただきます 元気 ながさき おいしか県

地域からの発信 あんな活動 こんな活動 皆さんの活動に役立てて下さい。



こんな取り組みをします。

- ・平戸市観光商工課（0950-22-4111）
一年を通して、「本物の漁師体験」「塩作り体験」「干物作り体験」などを行っています。
これからは、アスパラガス収穫体験、生椎茸摘み体験ができます。

こんな取り組みをしました。

- ・平戸市保健センター
平戸市食生活推進協議会の協力で、年間を通して、小学校、中学校で、郷土料理、おやつ、朝食などの「子ども料理教室」や食育講話などを実施しました。
- ・五島市水産課
6月28日 五島市立富江中学校、11月2日岐宿中学校で、「お魚教室」を開催し、あじ、みずいか、かんばちなどの魚のさばき方、魚の栄養と効能についての講話などを行いました。
- ・平戸市教育委員会
各小、中学校が計画し、小学校では、給食感謝集会、親子料理教室、稲作～餅つき大会など、中学校では親子魚釣り大会、給食感謝祭りなどを実施しました。
- ・長崎市地域保健課
8月22日 「子どもが作る家族の朝食コンクール」の調理による最終審査を行い、長崎市長賞に「キムバナセット」食育推進会議会長賞に「元気もりもり朝ごはん」が決定しました。



・キムバナセットと審査風景

- ・平戸市漁協青年部連合会
10月23日 平戸市立田助小学校で、「水産教室」を開催し、会員によるあじの3枚おろし、いかの下処理等と調理実習を行い、一緒に試食を楽しみました。
・平戸市漁協青年部による田助小学校の水産教室
- ・佐世保市健康づくり課
マタニティクッキング、働く男性の料理教室、離乳食教室、プレパママクッキング、佐世保北高校3年生を対象に青年期の食育推進など、いろいろな世代を対象に調理実習を含めた食育の活動を行いました。
- ・さくらんぼ保育園（長崎市新小ヶ倉）
11月1日 保護者の給食試食会を行い、給食献立の説明や、一人あたりの可食量を説明し保護者に理解していただきました。
- ・東大野幼稚園（佐世保市松原町）
「カレーの日」「雑煮会」「うどんの日」など、おかあさんに調理してもらい、みんなで食べました。和菓子職人の指導で和菓子作りに挑戦し、もも饅頭を作って食べました。学年毎にできる範囲でのクッキングを行います。

いただきます 元気 ながさき おいしか県



・比田勝幼稚園（対馬市上対馬町）

10月31日 上対馬漁協青年部との共催で、親子のお魚料理教室を行いました。親自らが生きた魚を料理し、子ども達と一緒に食べることで、食べ物への感謝のきもちを深め、魚料理に親しむことができました。



比田勝幼稚園の親子お魚教室



大島村漁協の大島中学校での活動



・大島村漁業協同組合

11月13日 地域の中で自主的に始まり、途絶えることなく続いている大島地区の水産教室を大島中学校で開催しました。カマスの下処理に挑戦し、「魚加工班」「郷土料理班」「刺身班」にわかれて作業を実施し、全員で料理を試食しました。

・江迎町教育委員会

11月20日 乳幼児をもつ保護者を対象に、大地といのちの会 中尾慶子さんを講師に「食育弁当出前教室」を開催しました。

・南島原市立見岳小学校

1月28日、「ふれあい給食」として、児童が祖父母と一緒に給食を食べながら、昔の昼食や食事の話をしながら一時を過ごしました。また、毎月19日「朝の会」「帰りの会」で食品の栄養素の「赤、黄、緑」の区分をクイズ形式で行っています。

・恵光保育園（南島原市有家町）

12月7日 近くのいも畑で園児が収穫したおいもを使い、「おいもレストラン」を開きました。おいもスティック、おいも団子、スイートポテトなどいろんなお菓子を作りました。



・恵光保育園おいものお菓子作り



・滑石中央幼稚園の大根の収穫



・サンタの家保育園の食育の認定証の授与

・滑石中央幼稚園（長崎市滑石4丁目）

年間をとおして、様々な野菜の栽培体験を行っています。1月には大根、2月には人参を収穫しました。収穫した野菜は家に持ち帰ったり、給食に使用しおいしくいただきました。

11月10日 地域の方に手伝っていただき、みそづくりに挑戦しました。

・サンタの家保育園（諫早市幸町）

2月22日 4～6歳児の子ども達が、食育ボランティア「きらきらクラブ」のお母さんたちによる、人形劇を交えた食べ物の話を聞きました。卒園児には認定証が贈られました。

いただきます 元気 ながさき おいしか県



食育ボランティア活動報告

川棚町食生活改善推進協議会

1月23日 町の愛育、食育フェスティバルにおいて、小学生を対象に料理教室でクレープを作りました。「お絵かき・折り紙コーナー」では、食材を見ながら絵を描くことは幼児にもできるのでとても好評でした。「食べ物クイズコーナー」「はし使いコーナー」も設け食育活動を行いました。

山口さん（西海市）（西海市立松島小学校での活動）

2月4日 学校給食週間の一環で松島小学校給食集會に招待され、生産者、児童、学校の先生を交えてお話を行いました。「いただきます」「ごちそうさま」の感謝の言葉で合同食事があり、感謝状をいただきました。
・野菜作りの話 ・人間はなぜ食べるのか ・なぜ「地場産野菜」なのか ・食べることの話（食べるもの、食べる方、食べる場所の変化）・どのような食物を食べればよいか・感謝の気持ちをもってなどの話をしました。



・山口さんの活動



・男の食クラブの活動

波佐見町食生活改善推進協議会（波佐見高校での活動）

2月7日 春から一人暮らしを始める3年生男子を対象に「健康づくり講習会」を開催し、講義と自分のBMI計算、食事バランスガイドを使い食生活のチェックと肉じゃがなどの調理実習を行いました。

男の食クラブ（佐世保市）代表 公文さん

2月9日佐世保市のスピカまつりで、定番料理「させぼ汁」を地産地消の材料を使い180食作りました。メニューは、させぼ汁に、ご飯（五分搗き十六穀入り）、沢庵、紅天（しそジュース）で参加者の皆さんに提供しました。クラブ員17名でがんばりました。

県からのお知らせ

「食品の安全・安心リスクコミュニケーション（意見交換会）」を開催します。

消費者、製造者、販売者、行政関係者が情報を共有しあい、お互いに理解を深めて行く意見交換会です。

テーマ：「わかりやすい食品表示をめざして」

日時：平成20年3月21日（金）13：00～15：30

場所：アルカス佐世保 イベントホール（佐世保市三浦町2-3）

内容：講演とパネルディスカッション

参加方法：食育・食品安全推進室あて電話、FAX又はEメールでご応募ください。

長崎県食品ウォッチャーを募集しています。

活動内容：食品表示などに違反がある場合や、疑問がある時に報告 対象：県内に住む18歳以上の方

応募方法：応募用紙を郵送等 募集人員：200名程度 締め切り：3月21日

